ブロードメディア＜4347＞、NSSK-EPSILON1によるTOBを受け入れて株式を非公開化

教育事業や映像コンテンツ制作、配信技術などを手がけるブロードメディアは、日本産業推進機構（NSSK）グループの投資会社NSSK-EPSILON1（東京都港区）による非公開化を受け入れ、中長期的な企業価値の向上を図る。

急速なAI（人工知能）・DX（デジタルトランスフォーメーション）化や教育・コンテンツ市場の構造変化に対応するため、短期的な業績変動にとらわれない体制を構築し、中長期的な視点から抜本的な事業構造の転換や成長投資を機動的に実行することが適切と判断した。

取得価額は最大で178億1700万円。買付価格は1株につき2500円で、TOB公表前営業日の終値1975円に26.58％のプレミアムを加えた。

買付予定数は712万7029株で、下限は所有割合66.20％にあたる471万8100口。筆頭株主などの運用を受託するアセット・バリュー・インベスターズ（AVI）との間では、AVIが運用する投資法人などが保有する285万1053株（所有割合40.00％）の全株式を応募する契約を結んだ。

買付期間は2026年10月30日～2026年12月14日までの30営業日。公開買付代理人は大和証券。TOB成立後、同社は東証スタンダード市場の上場が廃止となる見込み。

公開買付者のNSSKグループは教育業界で豊富な投資・経営支援実績がある。